

科目名	資料保存論	後期	2 単位
サブタイトル	人文的・自然科学的な資料の保存と取扱い	講義	
担当者	秋山 浩三、菱田 淳子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

- ①ともに学芸員資格が必要である、博物館学芸員および文化財専門職の業務遂行にあたり必須となる、各種資料の取り扱いや保管・保存における基礎的な知識・技術を学び身につける。
 ②博物館や文化財保管展示施設における、資料の劣化を予測するための科学的調査法、保存修理の考え方や原理とその手法、および保存環境に関する知識などを習得して、各種資料を健全な状態で保管するための基礎的能力を養う。

[授業概要]

学芸員の経験を有する教員が、博物館や文化財保管展示施設における、資料の保存に関する基礎的な情報・スキル、とりわけ近年注目され展開されている項目をめぐって具体的な概説を実施する。さらに、学芸員や文化財専門職に必要な、資料の保存に関する保存科学の基礎知識を習得するため、資料の劣化と診断調査から、その修理と予防のための環境について論じる。なお、近年では、博物館にかぎらず各種の文化財保管展示施設においても、資料保存に関する専門的で高度なノウハウを必要とする専門職領域が増加している傾向にあるため、それらにも十分かつ具体的に対応できる講義内容にしたいと考えている。また、本講義では博物館・文化財関連施設における現地研修もおこなう予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各種の博物館などへ積極的に赴き、その館・施設では資料の保存(劣化防止)や修復・復原に関しどのような取り組みがなされているか、自主的に観覧しておくこと。

[授業計画]

1. 科目の概要とガイダンス
(学芸員・文化財専門職員における資料保存の役割／あなたのお気に入り博物館ではどうか？)(秋山)
2. 資料保存論の位置づけとその歴史性(意外にも見直されている日本の伝統)(秋山)
3. 発掘調査における資料保存(調査時の記録、脆弱遺物の取り上げ、断面剥ぎ取り)(菱田)
4. 出土品整理作業と資料保存
(調査記録、写真データ、土器・石器・脆弱遺物等の調査後の保管と整理作業)(菱田)
5. 木製品の診断調査・記録・保存(実測、写真撮影、保存処理作業)(菱田)
6. 金属製品の診断調査・記録・保存(実測、写真撮影、保存処理作業)(菱田)
7. 文化財関係機関における資料保存・展示時の注意(博物館との相違と問題点など)(菱田)
8. 施設見学①: 兵庫県立考古博物館における保存処理施設・出土品資料の見学(菱田)
9. 施設見学②: 兵庫県立考古博物館における保存処理施設・出土品資料の見学(菱田)
10. 資料保存管理の留意点と劣化対策(何がダメで、何が良いか)(秋山)
11. 資料の予防的保存とIPM(とても気持ち悪い虫との対決も)(秋山)
12. 阪神淡路・東日本大震災と博物館資料の保存(神戸で培われた思想)(秋山)
13. 課題レポート寸評／講義総括／そして、あなたが学芸員・文化財専門職員になったら！(秋山)

※8・9＝学外での現地研修(土曜日または日曜日の予定)：詳細に関してはできるだけ早い段階に日時・内容等々をアナウンスする予定。

科目名	資料保存論	後期	2 単位
サブタイトル	人文学的・自然科学的な資料の保存と取扱い	講義	
担当者	秋山 浩三、菱田 淳子		
<p>[成績評価方法] 秋山分: 講義中の態度(25%)、討論参加の積極性(35%)、課題レポート(40%) 菱田分: 講義中の態度(25%)、討論参加の積極性(25%)、課題レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業最終日において、提出された課題レポートに関する評価コメントを実施する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-1/講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。 成績評価方法: 授業内の討論における積極性とその内容により評価</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-5/演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。 成績評価方法: 課題レポートおよび授業内討論の具体的内容における正確性により評価</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業時における受講態度、および、自己客観視の到達度により評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業時における討論参加への積極性と、その場面での発言内容の正確性により評価</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題レポートにおける問題設定・把握とその解決方向への模索の到達度により評価</p> <p>[教科書(ISBN)] 『新時代の博物館学』なお、必要に応じて資料を配付予定。 著者名: 全国大学博物館学講座協議会西日本支部編 出版社: 芙蓉書房出版 (ISBN978-4-8295-0551-9 C3030)</p> <p>[参考書(ISBN)] 初回講義時に具体的な書籍類を何冊か提示紹介。</p>			

S54030 [LHI3-003]